

日本科学史学会

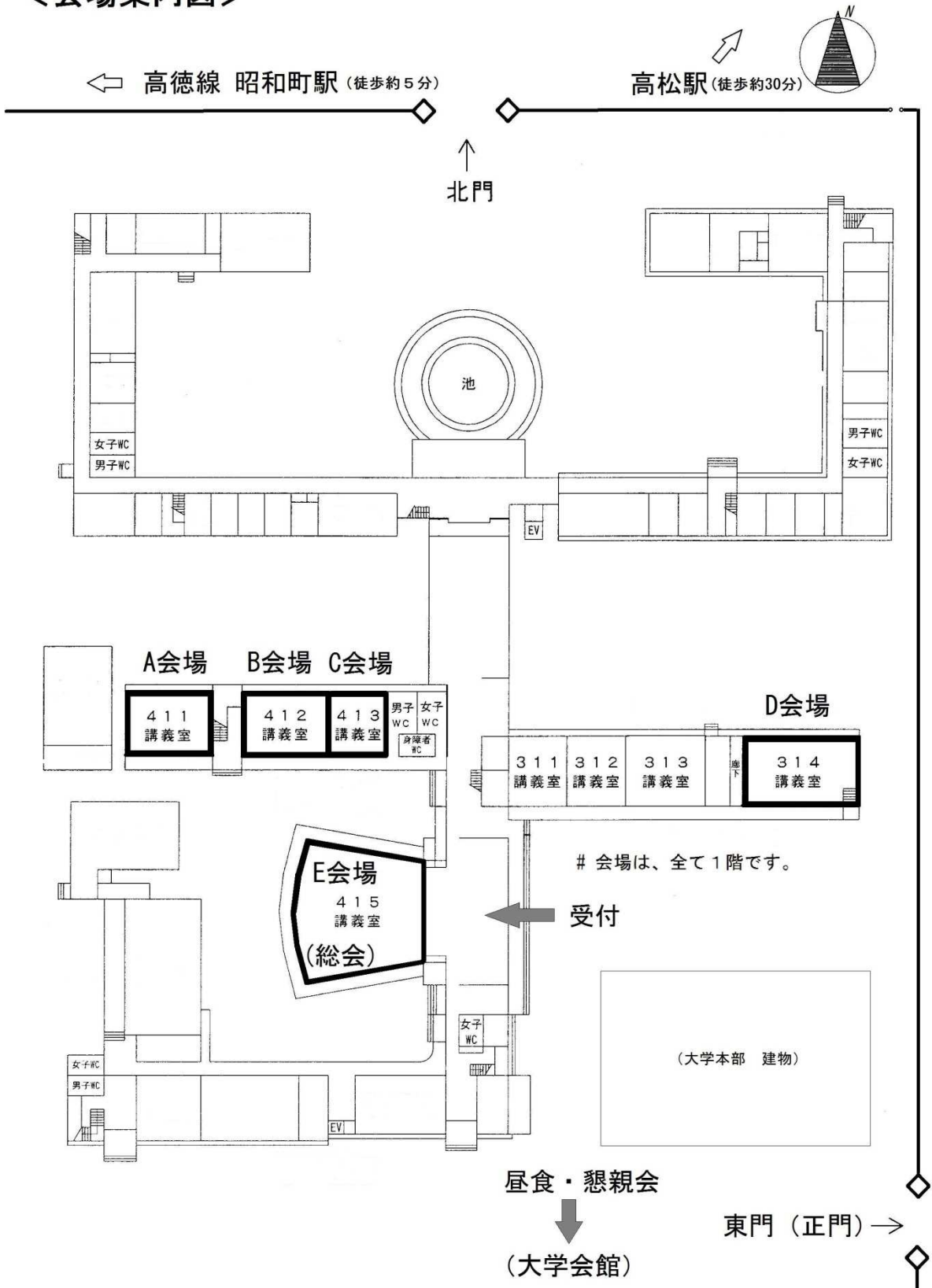
第64回年会・総会

研究発表講演要旨集

2017年6月3日（土）～4日（日）

香川大学教育学部

<会場案内図>



← 高徳線 昭和町駅 (徒歩約5分)

高松駅 (徒歩約30分)

↑
北門

池

女子WC
男子WC

男子WC
女子WC

EV

A会場 B会場 C会場

411
講義室

412
講義室

413
講義室

男子WC
女子WC
身障者WC

D会場

311
講義室

312
講義室

313
講義室

314
講義室

地下

会場は、全て1階です。

← 受付

(大学本部 建物)

屋食・懇親会

↓
(大学会館)

東門 (正門) →

日本科学史学会 第64回年会 2017年度総会 プログラム

2017年6月3日(土)

09:45ー 受付開始

10:30ー12:10 一般講演 (A会場、B会場、C会場、D会場)

13:00ー15:30 シンポジウム (A会場、B会場、D会場)

15:40ー16:40 記念講演 (D会場)

何森 健 (香川大学名誉教授)

「香川で生まれ育っている希少糖の研究と利用」

16:50ー18:20 総会 (E会場)

18:30ー20:30 懇親会

2017年6月4日(日)

08:30ー 受付開始

09:00ー10:20 一般講演 (A会場、B会場、C会場、D会場)

10:30ー11:50 一般講演 (A会場、B会場、C会場、D会場)

12:50ー13:50 一般講演 (A会場、B会場、C会場、D会場)

14:00ー16:30 シンポジウム (A会場、B会場、D会場)

2017年6月3日(土) 一般講演 10:30~12:10

〈A会場 411〉

- 10:30- A11 昭和戦後期の科学研究費助成—特定研究の拡大— 水沢 光
10:50- A12 松前重義:工業立国論から「科学技術新体制確立要綱」へ 大淀昇一
11:10- A13 成瀬政男の技術思想について 吉葉恭行
11:30- A14 海水淡水化用 RO 膜の開発・古川薫 本庄孝子
11:50- A15 化学の「変革」の定義を問う変則事例の可能性のある現象への
呼称にみる専門家集団の評価の変遷 鈴木羽留香

〈B会場 412〉

- 10:30- B11 久米邦武の論文・「神籠石は全地球の問題」について 福川知子
10:50- B12 植民地朝鮮における伝統的時間制の近代的再編 宮川卓也
11:10- B13 古代中国の宇宙観と初期二十八宿 福島雅淳
11:30- B14 仏教平天儀「両曜運旋略儀」について 梅林誠爾
11:50- B15 天文学者・平山清次:つなぎ役のダイナミズムと悲哀 吉田省子

〈C会場 413〉

- 10:30- C11 太田仁吉と小学校における映画教育のコミュニティ:日本の
科学教育における映像メディアの学習論的・歴史的検討 吉岡有文
10:50- C12 明治150年程迄の授業記録探索研究で解明する科学教育の
実相と今日的価値 小林昭三・興治文子
11:10- C13 第三次小学校令中改正に伴う尋常小学校理科必修の波及効果
—大正期における簡易物理実験ブームの背景—
赤羽 明・所澤 潤・玉置豊美・高橋 浩
11:30- C14 統計数理研究所と日本の統計学 上藤一郎・森本栄一
11:50- C15 東北大学図書館の木村駿吉旧蔵書 初山高仁

〈D会場 314〉

- 10:30- D11 台北帝国大学数学教室と加藤平左衛門教授の和算書
コレクション 城地 茂
10:50- D12 『原論』第XII巻の二つの伝承:ボローニャ写本の検討 斎藤 憲
11:10- D13 ヴィエト『記号計算についての前注釈』における比の扱い 北 秀和
11:30- D14 オーギュスト・コントの数学思想における関数概念 平井正人
11:50- D15 青蒿のラテン名比定までの経緯について 久保輝幸

2017年6月3日(土) シンポジウム 13:00~15:30

〈A会場 411〉

S1 2010年代における日本のエネルギー転換をめぐる諸問題

吉岡齊・川野祐二・黒田光太郎・関東晋慈

〈B会場 412〉

S2 高等教育における科学技術史と科学基礎論

—「科学史・技術史関連科目の開講状況に関する調査」を踏まえて—

隠岐さや香・杉本舞・村上祐子・小長谷大介・佐野正博・松原洋子

〈D会場 314〉

S3 軍事研究と学術体制

河村 豊・林 真理・山本由美子・木本忠昭・兵藤友博・
寺尾徹(コメンテーター)、三宅岳史(コーディネータ)

2017年6月4日(日) 一般講演 9:00~10:20

〈A会場 411〉

09:00— A21 大規模風力発電施設による超・低周波音問題(その3)

—日本の新しい公害とされた「低周波空気振動」の実測調査と
感覚反応実験(1980年前後)に見る先駆性—

後藤美智子

09:20— A22 — (発表取り下げ) —

09:40— A23 1980年代の日本における家庭とパーソナルコンピュータの関係

A24 (*長時間枠)

鈴木真奈

〈B会場 412〉

09:00— B21 ドライアストロノミーの時代と日本の天文学

田島俊之

09:20— B22 地学会編『本邦化石産地目録』(1884)からわかること

矢島道子

09:40— B23 地体構造論と地政学の間で—地質学者望月勝海の戦中・戦後

山田俊弘

10:00— B24 上海自然科学研究所接收の経緯

八耳俊文

〈C会場 413〉

09:00— C21 フランスにおけるド・ブロイ理論の評価

小島智恵子

09:20— C22 日本の量子力学受容における解析力学の役割

—長岡半太郎の場合—

福永浩一

09:40— C23 1930年前後の湯川秀樹:日本における場の量子論研究の
出発点を考える

小長谷大介

10:00— C24 輻射理論における発見の文脈

古谷紳太郎

〈D会場 314〉

- 09 : 00ー D21 古代ギリシャ医学におけるレブラとエレファンティアシス
D22 (* 長時間枠) 堀 忠
- 09 : 40ー D23 中世イスラーム世界に女性医学者は存在したのか？
—タバリ『ヒポクラテスの治療』での証言を通して— 三村太郎
- 10 : 00ー D24 医学者ディオクレスの精神病理論における
ヒポクラテス医学の影響 今井正浩

2017年6月4日(日) 一般講演 10 : 30~11 : 50

〈A会場 411〉

- 10 : 30ー A31 屋内に残された放射性セシウムから見えてくる原発事故後の
6年間 山内知也
- 10 : 50ー A32 低線量被曝問題とアグノトロジー(無知論) 藤岡 毅
- 11 : 10ー A33 一般書における原子力災害に関わる知識
—1970年代を中心に— 横田陽子
- 11 : 30ー A34 原子炉の立地問題と安全性研究 高橋智子

〈B会場 412〉

- 10 : 30ー B31 世界の歴史的病院の諸相 石田純郎
- 10 : 50ー B32 引揚援護医療における人工妊娠中絶事業の検討 松原洋子
- 11 : 10ー B33 「統合性」概念の歴史的変遷~現代の生と死の再考に向けて~
B34 (* 長時間枠) 小宮山陽子

〈C会場 413〉

- 10 : 30ー C31 明治以降の「研究」概念の変遷
—"Research"と「研究」の差を考える— 村松 洋
- 10 : 50ー C32 動物学・植物学関係の日本理学会設立賛同者 溝口 元
- 11 : 10ー C33 科学史学会成立以前の日本における科学史の受容 岡田大士
- 11 : 30ー C34 初期の雑誌『科学』(岩波書店)と「科学史研究会」 渋谷一夫

〈D会場 314〉

- 10 : 30ー D31 1930年代カリフォルニア大学の直面した財政状況 日野川静枝
- 10 : 50ー D32 仁科芳雄と日本の科学者の平和運動 山崎正勝
- 11 : 10ー D33 日本における科学者運動と日米関係 栗原岳史
- 11 : 30ー D34 1950-60年代ヨーロッパにおける「数値解析」 河西棟馬

2017年6月4日(日) 一般講演 12:50~13:50

〈A会場 411〉

- 12:50- A41 JRR-3 と保障措置: IAEA 理事会議事録の分析 伊藤憲二
13:10- A42 泡箱写真解析と高精度ブラウン管 小山俊士

〈B会場 412〉

- 12:50- B41 生理学、優生学、民族主義: 朝鮮人生理学者・李甲洙の場合 愼 蒼健
13:10- B42 徳島初の開業女医 長木イシ(露木イシ)の足跡 西條敏美
13:30- B43 炭鉱島の形成—長崎県池島炭鉱の事例 中村征樹

〈C会場 413〉

- 12:50- C41 中国電気自動車発展事情について 李 霄
13:10- C42 中国における風力発電の送電網の未整備問題について 張 煥新
13:30- C43 新生児マス・スクリーニングへのタンデムマス質量分析計の
導入—SIDS(新生児突然死症候群)とタンデムマス質量分析
計の関連に着目して 笹谷絵里

〈D会場 314〉

- 12:50- D41 ニュートンに見失われにしケプラー順問題の普遍定数 杉本 剛
13:10- D42 ニュートンによる色と音との類比的背景 工藤璃輝
13:30- D43 「決定実験」概念の来た道をたどる
—ベーコンからボイル、フック、ニュートンまで— 多久和理実

2017年6月4日(日) シンポジウム 14:00~16:30

〈A会場 411〉

- S4 科学とカネ 櫻井文子・隠岐さや香・丸山雄生・佐渡友陽一

〈B会場 412〉

- S5 「周期律」から「叡知圏」へ — 科学史研究史における梶雅範(1956-2016) —
市川浩・古川安・金山浩司・齋藤宏文・和田正法・
工藤璃輝・古谷伸太郎・岡田大士・中島秀人・藤岡毅

〈D会場 314〉

- S6 科学論・技術論の現代史 — 日本の STS の歴史的定位のために—
木原英逸・吉岡斉・田中智彦・塚原東吾・後藤邦夫・桑原雅子